

平成22年度 学校評価 自己評価結果

諫早市立伊木力小学校

【児童へのアンケート集計結果】

左側は、児童による自己評価を平均化したものです。右側は、関連のある項目について、保護者と教師が評価したものを示し、児童による自己評価と比較しています。
 評価方法...右の基準によって、評点欄に4～1までの数字で評価する。〔4；よくあてはまる 3；ややあてはまる 2；あまりあてはまらない 1；まったくあてはまらない〕

No	評価内容	評点	関連のある評価内容	保護者による評価	教師による評価	児童・保護者・教師の評価による考察
1	伊木力小学校のめざす子どもの姿を知っている。	3.41	1	3.78	3.69	児童用アンケート 21、保護者アンケート 1が3.68、3.69と高い数値を示し、学校生活を楽しくしていることを嬉しく思うと共に、今後も楽しく、充実した学校生活を送れるよう家庭と力を合わせてがんばっていきたくと思います。調べる活動や発表する活動に力を入れていたり体験を通して学ばせていることについてご理解いただいています。体験を通して主体的に学ぶ機会を多くし、自分の考えを堂々と発表する力を付けていきたくと思います。家庭学習や読書の習慣に関する項目が他に比べて低くなっているため、家庭との連携に力を入れて取り組んでいきたいと思っています。子どもの体力向上や基本的な生活習慣への学校の取組に対してもご理解を頂き、良く協力していただいています。歩いて登校する子どもが増えています。「ノーテレビ・ノーゲームデー」にも毎月取り組んでいただき、意識付けができてきました。学校の様子を通信などでよくお知らせしていることや教育活動の工夫などの項目の評価が高いのは大変嬉しく、今後も力を入れて頑張っていきたいと思っています。「あいさつ」については、昨年度より評価が上がってきました。励みながら指導していきます。
2	先生はわかりやすく教えてくれる。	3.77	2	3.33	3.33	
3	困った時は担任の先生や他の先生に相談している。	3.13	6	3.18	3.89	
4	保護者や地域の人といっしょになって活動するのが楽しい。	3.59	16	3.47	3.20	
5	学校では、仲のよい友だちがいる。	3.88	6	3.18	3.89	
6	朝や昼休みに元気よく遊んでいる。	3.29	10	3.38	3.50	
7	他の学年の人と活動するのが楽しい。	3.55	6	3.18	3.89	
8	相手を傷つけないように言葉づかいは気をつけている。	3.10	7	3.22	3.44	
9	先生や友だち、地域の人に元気よくあいさつをしている。	3.66	17	3.10	3.30	
10	人のためになることを進んで行っている。	3.04	7	3.22	3.44	
11	宿題や家庭学習をよくしている。	3.39	5	3.17	3.33	
12	学習中に先生や友だちの話をよく聞いている。	3.41	2	3.33	3.33	
13	図書室や教室などで、よく本を読んでいる。	2.92	8	2.80	3.33	
14	廊下は走らず静かに歩くよう、また階段の上り下りにも気をつけている。	2.82	7	3.22	3.44	
15	命の大切さや良いこと・悪いことについて、よく考えることがある。	3.36	7	3.22	3.44	
16	交通のルールを守り、安全に心がけている。	3.60	10	3.38	3.50	
17	生活・保健の月目標を守るように心がけている。	3.11	9	2.97	3.11	
18	学級をよくするために係り活動をがんばっている。	3.36	7	3.22	3.44	
19	歯みがきやうがい・手洗いをよくしている。	3.50	11	3.24	3.60	
20	掃除の時間は自分の分担を責任をもって行っている。	3.49	7	3.22	3.44	
21	学校に来るのが楽しい。	3.68	1	3.69	3.78	
22	自分で決めた目標を守るよう努力するようにしている。	3.35	9	2.97	3.11	

太字の項目は、評点が3点未満のもの。

【保護者・教師へのアンケート集計結果】【学校関係者評価をうけての学校の改善策等】

保護者へのアンケート集計結果					教師へのアンケート集計結果				
項目	No	評価内容	評点	平均	平均	評点	No	評価内容	評点
子どもの様子	1	子どもは、楽しく学校に通っている。	3.69	3.69	3.78	3.78	1	好ましい人間関係づくりに励み、楽しく登校できるように努めた。	3.78
学力の向上	2	学校は、基礎基本の定着について熱心に取り組んでいる。	3.33	3.37	3.41	3.41	2	基礎基本の定着について熱心に取り組んでいる。	3.33
	3	学校は、調べる活動や発表する活動に力を入れて取り組んでいる。	3.46				3	調べる活動や発表する活動に力を入れて取り組んでいる。	3.56
	4	学校は、体験的な活動を取り入れ、体験を通して学ばせるよう取り組んでいる。	3.53				4	体験的な活動を取り入れ、体験を通して学ばせるよう取り組んでいる。	3.44
	5	子どもは、宿題などを通して、家庭学習の習慣が定着している。	3.17				5	子どもは、宿題などを通して、家庭学習の習慣が定着している。	3.33
心の教育の充実	6	学校は、いじめのない仲間づくり(人権教育)をしている。	3.18	3.04	3.44	3.44	6	いじめのない仲間づくり(人権教育)をしている。	3.89
	7	子どもに、優しい心など道徳的な心情や態度が育っている。	3.22				7	子どもに、優しい心など道徳的な心情や態度が育っている。	3.44
	8	子どもが、本を良く読むようになってきた。	2.80				8	子どもが、本を良く読むようになってきた。	3.33
基礎体力の向上	9	子どもに、夢や目標を持ち頑張ろうとする気持ちや態度が育っている。	2.97	3.31	3.55	3.50	9	子どもに、夢や目標を持ち頑張ろうとする気持ちや態度が育っている。	3.11
	10	学校は、子どもの体力が向上する取組(歩いて登校、縄跳びカードなど)を行っている。	3.38				10	子どもの体力が向上する取組(歩いて登校、縄跳びカードなど)を行っている。	3.50
環境作り	11	学校は、基本的な生活習慣が身につく取り組みを継続的にしている。	3.24	3.41	3.50	3.40	11	基本的な生活習慣が身につく取り組みを継続的にしている。	3.60
	12	子どもの作品等の掲示があり、環境作りに工夫をしている。	3.44				12	子どもの作品等の掲示があり、環境作りに工夫をしている。	3.60
地域・家庭との連携	13	花や植物の栽培を通して、自然や命にふれる環境づくりを行っている。	3.38	3.34	3.32	3.30	13	花や植物の栽培を通して、自然や命にふれる環境づくりを行っている。	3.40
	14	学校は、指導方針を明確に持ち、わかりやすく伝えている。	3.32				14	学校の指導方針を保護者によく伝えている。	3.50
	15	学校は、学校の取り組みや様子を通信などでよく知らせている。	3.60				15	学校の取り組みや様子を通信などでよく知らせている。	3.30
	16	学校は、地域の素材や人材を活用した教育活動を行っている。	3.47				16	地域の素材や人材を活用した教育活動を行っている。	3.20
	17	子どもは、家庭や地域で元気なあいさつをしている。	3.10				17	子どもは、家庭や地域で元気なあいさつをしている。	3.30
国際理解の推進	18	家庭では、あいさつの声かけをしたり、会話の時間を持ったりしている。	3.25	3.39	3.55	3.40	18	保護者と良く連絡を取り合っている。	3.30
	19	学校は、外国語活動、英語活動に力を入れ、指導方法を工夫している。	3.55				19	学校は、外国語活動、英語活動に力を入れ、指導方法を工夫している。	3.70
	20	子ども達のコミュニケーション能力に高まりが見られる。	3.23				20	子ども達のコミュニケーション能力に高まりが見られる。	3.40

【子どもの姿について】
 楽しそうに学校に通っているのが安心しています。保護者側と学校側が上手く連携して気をつけてあげないといけないと思います。友だちはもちろん自分も大切にできる人になって欲しいと思います。子どもへの願いは、何事にも積極的に取り組んで頑張ってもらいたいということです。

【学力の向上】
 体験したことは、本などで見るより理解できるし、ずっと忘れません。授業や活動を通して学ぶ機会が多くとても良いと思います。子ども達も目を輝かせて真剣に取り組んでいるようで素晴らしいと思います。全体的に挨拶があまり行われていないように思います。

【心の教育の充実】
 団体生活の規律、楽しさをあらゆる機会、体験をとおして継続的に指導をお願いします。整理整頓ができる、後片付けができる、生活にメリハリがありけじめある生活ができるようになってほしい。

【基礎体力の向上】
 歩いて登校を過度に評価されているようで、子ども達も遠い佐瀬地区から歩くことでほめられる喜びや達成感を味わい、頑張っているようです。しかし、歩道が確保されていない道路を歩き、長期にわたる工事現場の側を歩くなど、危険と隣り合わせの状態です。交通事故に遭わないことを願っています。

【地域・家庭との連携】
 5・6年生が中心になってあいさつ運動をしてほしいです。気持ちがいよいよあいさつができると1日楽しくできると思います。言葉を出して恥ずかしい気持ちをなくしてほしいです。笑顔で大きな声であいさつができる子ども達を見られたら幸せです。以前よりあいさつを子ども達の方からしてくれるようになったと感じます。これが中学生になっても続けばよいのですが.....。小中のつなぎの部分も必要かなと思います。あいさつをきちんとするように家庭でいつも話しているのですが、最近なかなか上手にできません。成長の過程かもしれませんが、生きていく上でとても大切なことだと思いますので、びしびし指導していただければと思います。学校の中ではあいさつはしているようですが、外では全くといっていいほどあいさつがありません。これは学校の問題ではなく、家庭の問題だと思います。年上に対する態度、言葉遣い、思わず「え」を思うことがあります。外では大きな声で自分から気持ちの良いあいさつができていて感心します。ですが、...家の中では家族がいて当たり前、何かしてもらって当たり前、ついつい忘れがちな「ありがとう」や「ごめんなさい」がもっと自然に言える子どもになってほしいと思います。以前に比べたら、言葉遣いも良くなりましたが、まだ時々口調が荒くなったり、びっくりするようなことばを言ったりして困る時があります。まだまだ反抗期のようなようです。やさしい子、素直な子になってほしいと思います。

【国際理解教育の推進】
 学校に期待しているのは、集団でのコミュニケーション能力の向上です。子ども同士のつながりの中で、やりたいことを見つけ、創り上げていく楽しさを知ってほしいと思います。

【その他】
 上靴と体育館シューズの一本化がなされると聞きましたが、体育館が滑りやすくなり危険だと思います。今まで通りでは不都合なのですか。

子どもの姿	学校評価委員会	毎朝元気に登校班で登校する姿がみられる。登校班の姿から高学年の児童に責任感が感じられてとても良い。学習発表会では、どの学年もいきいきと発表する姿が見られ、とても良かった。学校だよりや学級通信から、学校での子ども達の活動の様子がよくわかり、いろいろなことに一生懸命にがんばっていることがよくわかる。	学校の改善策	授業参観、学習発表会などを通して、子ども達の学習の様子を積極的に公開していく。学校便りは、今後も毎週発行できるよう努力していく。あわせてホームページでの学校の様子や取り組みを積極的に発信していく。
学力の向上 心の教育の充実	学校評価委員会	地域から学ぶことが多く取り入れられていて、体験しながら学ぶことができています。家庭学習の取り組む姿勢は、兄弟の影響が大きいので、中学校とも連携して取り組ませないと習慣を付けることが難しい。堂々と自信を持って発表する姿が多く見られるようになってきたように感じる。家庭での読書に力を入れるようにしたらどうか。	学校の改善策	家庭と連携して、家庭学習の習慣化への取組に力を入れていく。体験を通して学ぶ。学んで感じたことを自分の言葉でまとめる。学んだことを自分の言葉で発表する等の学習に力を入れていく。地域の素材や人材を積極的に活用していく。親子読書等、家庭での読書(家読書)に力を入れていく。
基礎体力の向上 環境作り	学校評価委員会	歩いて登校する児童が増えている。車で送り迎えする家庭は決まっているので、家庭への協力をお願いします。地域で遊んでいる姿がみられない。外遊びをもっと奨励したらどうか。教育週間などで学校に行くと、廊下に子ども達の作品が展示されていてとても良い。たらみ図書館の掲示物も工夫されていて、楽しみに見ている。	学校の改善策	歩いて登校の呼びかけを行い、家庭と協力して取り組む。休み時間の外遊びを奨励していく。学校園、花壇の整備に力を入れていく。
地域・家庭との連携 国際理解教育の推進	学校評価委員会	親もあいさつをしない人が見られるので、親への意識付けも必要。顔見知りの人にはあいさつするが、知らない人にはあいさつしない子どもがまだみられる。地域のクリーン活動に学校の先生が参加してくれて、とても良かった。英語に興味を持っている子ども達が増えているのがとても良い。多良見ふるさと祭りに参加できるように、伊木力の伝統的な取り組みを考えて欲しい。	学校の改善策	P T A 活動、地域行事等を通してもっと保護者・地域の方との交流を深めたい。家庭、地域と協力して、「あいさつができる子ども」を育てていきたい。「おはよう」だけでなく、「ありがとう」「ごめんなさい」などがしっかり言えるよう家庭と連携した取組を考えていきたい。